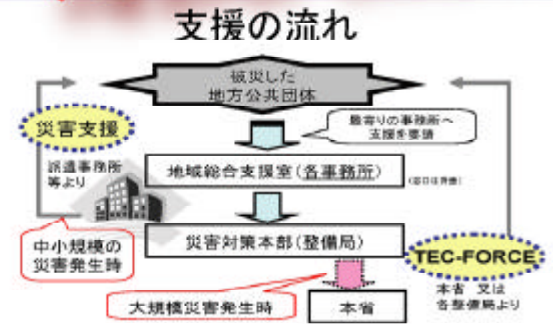


「テックフォース」が災害支援を行います!!

いざという、その時に!!

「テックフォース」とは、被災した地方公共団体などに対して、国土交通省の『資機材・マンパワー・ノウハウ等』を活用した応援・支援を行う、『緊急災害対策派遣隊』です。

災害時の支援は右図のような流れで行われます。



岩手・宮城内陸地震(H20.6.14 震度6強)

岩手・宮城内陸地震において、新丸山ダム工事事務所からも、工務課長がテックフォースの隊員として出動しました。

そのときのエピソードのひとつをご紹介します。

宮城県内の、崩壊により道路が埋没した地区で現地調査を行っていたときのこと、その道路を開放するために除けた土砂により、支川が堰き止められ水が溜まり始めていた箇所を発見。その近くには民家もあります。早速本部に詳細を直接説明し、翌日には宮城県が水路確保工事を行い、大事には至りませんでした。



せき止められた支川の深さを調査中
(宮城県栗原市栗駒沼倉地内)

西濃豪雨(H20.9.2~9.3)

揖斐郡池田町の土砂災害においても、新丸山ダム工事事務所から工務課長、調査係長が出動し、土砂災害の対策として緊急点検活動を行いました。

こういった、現地調査・応急復旧工法等の技術指導のほかに、排水ポンプ車や照明車等の派遣といった業務もテックフォースの役割です。

災害発生時、または発生の恐れがある場合には、頼れる青い服の派遣隊「テックフォース」があなたの街の安全を守ります。



渓流部の崩落状況を調査中
(岐阜県揖斐郡池田町藤代地内)

災害被災地支援と復興支援

10月10日、NPO法人レスキューストックヤードの松田曜子氏を講師にお招きし、近隣市町の職員を交えた約40名で、平成19年発生の能登半島地震で被災した穴水町での復興支援活動を事例とした、災害支援のあり方などのお話を伺うと共に、それぞれの立場から災害支援について意見交換を行いました。

国土交通省は、災害直後のハード的な支援を中心に行いますが、レスキューストックヤードの活動は、災害直後から街の復興までのソフト的支援です。「ピンチをチャンスに」とらえ、「震災前より活気ある街に」を目標として穴水町の復興に取り組む松田氏の姿勢に、力強さを感じました。

ハード的支援とソフト的支援、その両方が相まって本当の災害支援となると考えており、NPOの皆様とも密接な連携を図っていきたいと考えています。

穴水町復興ブログ (www.anamizu-fukkou.com)

